

湯梨浜中学校だより

湯梨浜町立湯梨浜中学校 校長 武田基資（令和4年6月10日）



三智創造

生徒自身の力で学校をつくり上げる

本校では、生徒自身の力でよりよい学校をつくることを目標の一つにしています。そのために大きな役割を果たすのが生徒会の活動です。先月末には生徒会の総会を開催しました。また、総体予選前には部長会と生徒会執行部が協働して激励会を開き、大会後は報告会を開くことにしていました。

生徒総会では、今年度のスローガン「礎」とそこに込められた考えを紹介し、そのスローガンを実現することを目指した各専門委員会の年間目標や活動計画についての説明と承認を行いました。執行部では一人一人の生徒の参画をめざして、「目安箱」の活動も計画しています。



生徒会スローガン「礎」（土台、基礎となる大切なものや人のこと）

この一年、まず全学級で生活面・学習面での基盤をつくる（時間を守る、あいさつ、提出の期限を守る、協同学習への積極的な取り組みなど、当たり前のことができるように）。そしてこの強靱な礎の上に、楽しく、安全で、笑顔あふれる学級や学校をつくる。

激励会も生徒が計画してくれていましたが、新型コロナ陽性者の増加を踏まえて急遽リモート形式に変更しました。準備を進めてくれていた生徒や応援ダンスを予定していたダンス部の生徒には残念な思いをさせてしまいましたが、全員集合で実施した場合、もし陽性者が出れば学校全体が休校となり総体予選辞退となりかねない状況での判断でした。

報告会もコロナ対策のため集会形式ではできないため、いろいろ考えた末、給食時間の校内放送を利用して各部の代表者が大会結果と応援のお礼を伝えることにしました。部の数が多いので今週いっぱいかけて行いました。

3年生が中心となって生徒会活動をリードしていますが、生徒全員が湯梨浜中の生徒会のメンバーであり、一人一人の取り組みが学校全体の取り組みをつくっています。時間を守ったり服装の決まりを守ったりするのも大切な取り組みですし、まわりの友達を大切に話しかけ方や接し方をすることや、授業中に活発に活動することも良き伝統や学校文化を創ることにつながる取り組みです。一人一人の行動でよりよい学校をつくっていきましょう。

次なる目標

先日の中部地区サマーブラスコンサートでは、一人一人の気持ちが伝わる力強い音を観客席に届けてくれました。夏のコンクールまでさらに音を磨いて質の高い演奏を聴かせてほしいと思います。

先週末の県総体中部地区予選では、チーム競技や個人競技の団体戦で5つの優勝を果たし、決勝戦に進んで惜しくも準優勝となったチームも3つありました。また、個人での優勝もいくつもあり、それぞれが日頃の練習の成果を発揮してくれたのだと思います。今回県総体に勝ち進んだ選手には、中部地区11校の代表としての自覚を持ち、さらに精進を積んで、敗れた生徒たちの思いも背負って堂々と闘ってきてほしいと思います。ただ、新型コロナ対策のため、出場登録メンバー以外は会場に入らず応援見学もできない部があります。やはり早くコロナ問題を解消したいと強く思います。

また、残念ながら県総体出場が叶わず悔しい思いをしている生徒もあるでしょう。それぞれが次の目標に向けて日々の生活を充実させてくれることを願っています。